

農園通信

2023年7月・8月

発行・問合せ先：島本町農業振興団体
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amil.plala.or.jp

無農薬のトウモロコシ作り

- 害虫 困るのはアワノメイガ。蛾の幼虫で、1mm～2cm程の白い芋虫。（他の虫は気にしなくて大丈夫。）雄花の出る時期から、雄花、茎、実の中に穴をあけて入り込み食害します。穴を目印にピンセットを入れると取れることも多いですが、面倒なので放置。蛾は雄花に誘われてくるので、受粉の役割が終われば雄花は切り取った方が良いでしょう。
- 種まき時期 発芽適温25度なので、3月4月の種蒔きはビニールトンネル、5月6月は普通に蒔いて発芽します。ただし、播種は早いほど虫害が少ないです。1か所3粒蒔き、10cmになれば1本立ちに。取った苗は移植できます。（捨てるのはもったいない）
- 植える間隔 2列植え、株間20cm、本数多く植えたほうが花粉が多く受粉しやすいです。
- ポイント① 肥料：肥料はたくさん要ります。元肥しっかり。更に、1回目の追肥は苗が10～15cmの時、2回目の追肥は雄花の出る前。茎が細い時や雄花よりずいぶん遅れて雌花が出るのは、肥料不足のサイン。
- ポイント② 収穫時期 収穫適期は短いです。受粉後20日程（品種により違います）。受粉日（雌花の出た時期）を書いて茎に結び付けておくとい良いでしょう。収穫が遅いと、甘味が落ち又ハナムグリが集まります。#実が詰まってなくて歯抜けなのはなぜ？…雌花の糸1本ずつに花粉が付いて実になります。なので、花粉が多く（ムンムンするくらい）飛ばないと受粉が悪くなります。



前号（日本の食料自給率は38%？）の続き

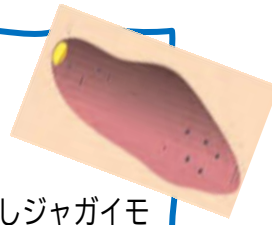
政府、不測の事態時は農家に別の穀物生産指示の法整備検討

（5月19日、「食料・農業・農村基本法」見直しの間とりまとめ案が示されました。）

有事の輸入停止やパンデミックの混乱などで、食糧安定供給への不安が注目されました。日本は食料自給率が低く、また肥料や飼料もその大半を輸入に頼っているのが現状です。平時の自給率UPとあわせ、有事の際の強制力を伴う法整備が検討されます。

「別の穀物生産指示」って何 米（こめ）から芋（いも）に生産を切り替えること。なぜ芋かというと、1日の最低限必要なエネルギー2,020kcalを得るには米より芋の方が効率が良いからです。農水省作成のパンフ「一番身近な食べ物の話」に輸入ストップ時の芋中心の食事が載せられています。➔ 将来にわたって豊かで安全な食生活を享受できるのか？ 家庭菜園もジャガイモとサツマイモ作りですね。サツマイモは肥料なしで出来ます。苗は去年の芋から自分で作れます。しかし今の広さではとてもたりないですね。

朝食：茶碗1杯のご飯
蒸しジャガイモ2個
糠漬け1皿
昼食：焼き芋2本、蒸しジャガイモ1個、りんご4分の1個
夕食：茶碗1杯のご飯、焼き芋1本、焼き魚1切れ
その他：2日に1回1杯のうどん…



裏面は島本町農業振興団体協議会ホームページをご覧ください。

(;^ω^;) 失敗は宝



うまく出来たことは意外と忘れるものです。
反対に、失敗は悔しさと共に記憶に残るので、
失敗からいろいろ学べます。失敗大歓迎！
レベルアップの鍵は失敗にあり

経験談

(Mさん) 昨年はカメムシ被害でさんざんでした。ミニトマトは7月後半以降カメムシに汁を吸われて次々に腐りました。ミニトマトの後半は出来ないと思って、次を考えた方が良いでしょう。さて今年のミニトマトはいつまで収穫できるか。

(Kさん) キュウリにバト病、昨年も今年も。植えてすぐにバト病になり全く収穫できません。雨が降るとうね下に水が溜まるからでしょうか。でも周りの人は出来ています。時間が無くて、高うねにするための土盛りが少なかったからでしょうか。良く耕さなかったからでしょうか。

(Oさん) Kさんの同じ畑ですが、キュウリも他の野菜もみなとても良く出来ています。肥料は油粕と化成肥料(8-8-8)を使っていますが、他の人より化成肥料の量をだいぶ多くしています。この土にはこれであっているようです。

(Sさん) カボチャは日本種は親づるを、西洋種は子づるを伸ばすと以前勉強したことがあるのですが、日本種を親づると子づるの二本立てにして空中にて育てています。親づるはめしべ6つで芯止めしました。うどん粉病の症状が少し出ています。植物由来の農薬を散布して拡散を抑えています。

(Nさん) カボチャは毎年うどん粉病が出ますが、仕方がないです。きりがないので白くなった葉も取りません。野菜の勢いがあればどんどん新しい葉が出てくるので大丈夫。毎年乗り切ってくれています。勢いを持続させるために、化成肥料を野菜の様子を見て適宜やります(油粕もやりますが)。ある時期が来れば落ち着きます。



うどん粉病の葉の白い粉(カビ)

(Fさん) サニーレタスはなんとアブラムシに強いのでしょうか。

昨年、放置していた苗床のサニーレタス、アブラムシまみれで🐞。1本づつばらしてバケツの水に浸けて多くのアブラムシを落として定植しました。すると元気に育って、とても美味しかったです。今年も定植後、10%ほど遮光しようとネットを掛けていたら風通しが悪くてアブラムシが付きました。しかしネットを外すと大丈夫。びっしり付いていたアブラムシも1, 2週間でテントウムシの登場できれいになりました！(アブラムシはキャベツ・大根等につくと要注意)

(Yさん) 野菜作りを始めて3か月のビギナーです。まず、うまくいったことですが、農園で指導頂いたことをそのままやったら思いの外うまくいきました。一方、自分で適当にやったことは、特に種から育てるのは難しく、発芽するしないや適切な間隔を確保することなどが思うようになりませんでした。苗を買うか、自分の家で発芽させてからきれいに等間隔で植えれば良かったかなと思いました。あと、一般的なことですが、もっと近くの人(同じ畑の人や近隣の畑の人)とコミュニケーションをとるべきだなと思います。お話して気づかされることが多いです。

旬の1品



ピーマン、トマトの炒め物…相性ばっちり

- 1, フライパンに油をひき豚肉 30g を焼く(塩・胡椒)。一度取り出す。
- 2, ピーマン 100g を 2cm 角に、ミニトマト 100g は 2 つに切り炒める。(塩・胡椒)
- 3, 豚肉を戻しひと炒めする。

農園の空き情報<問合せ先>

町民農園部会：福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp